

# 強烈アピールで ブームを起こして

洗足学園音楽大学教授、ティンパニ奏者

森 茂さん

Shigeru Mori



## 経歴

静岡県駿河区生まれ。静岡市立高校卒業。国立音楽大学を首席で卒業。1974年、日本フィルハーモニー交響楽団に入団、2006年まで首席ティンパニスト。同年、洗足学園音楽大学打楽器コース教授に就任。昨年末まで音楽大学初の打楽器を専門とする洗足学園音楽大学付属打楽器研究所所長。65歳。日本打楽器協会副理事長。静岡市で大編成打楽器アンサンブルを主宰し、音楽監督・指揮者を務めたほか、多くの演奏会に打楽器トップ奏者として出演、活躍中。  
<http://www.senzoku.ac.jp/music/>

## 打楽器のトップ奏者に

ティンパニとの出会いは高校2年の吹奏楽部の時。大学に入り本格的に習い始め、学業の傍らプロのオーケストラでエキストラプレイヤーとして演奏。ティンパニの魅力に取りつかれた。卒業後、日本フィルハーモニー交響楽団のオーディションに合格し、入団した。

1987年の日フィルのヨーロッパ公演に参加後の1987年、常任指揮者の渡

静岡市にゆかりがあり、東京を拠点に内外で活躍する皆様に、東京から見た静岡市の良さと可能性、まちづくりの方向について、ご提案いただきます。

邊曉雄氏から打楽器トップ奏者に指名され、そこから森さんのティンパニ人生が始まったという。

ティンパニ奏者は第二の指揮者といわれるくらいオーケストラでは重要なポジション。「ティンパニって爆発的なイメージが強いですが、実はやさしい音や音楽、歌うような音楽にしたりすることができのです。オーケストラのカラーがよく出る楽器なんです。」

ティンパニのヘッドは、皮(子牛)のため

## クラシックへ理解を

「湿度や温度で音色が相当変わってしまう。ホールの残響なども考慮し、演奏会するときにはだれよりも早く会場に入ってチューニングをします」。調律にはかなり神経を使う。

「静岡のことは気にかかるし、発展してほしいとも思っています」という森さん。イメージを尋ねると「アピールする力・気持ちが強くないと感じています。それとブームに乗るのが下手ですよ」と指摘する。

「ブームは一過性のもだからというかもしれませんが、強烈にアピールできるものを見つけ、思い切りアピールしたらいいと思います。恵まれた土地の強みを發揮し、静岡ブームを巻き起こしていただきたいですね。」

駿府城の天守復元を願う一人。「城ブームでお城見物は外国人にも人気です。せつかく櫓を建てたのだから民間から資金を集めるなどして、ぜひ天守閣を復元してほしいですね」と話す。

時々静岡交響楽団から招かれる。「一般に、オーケストラはもうからないから企業もなかなか応援してくれない」と残念がる。それでも「静岡へ行くと、こんな素晴らしいクラシック音楽が聴けるとなれば、まち興しにもつながると思います。市民、県民の皆さんがクラシック音楽への理解を深めてくれると嬉しいですね。」

(文・写真…長田義明)